



ゴルホルオ会

(防衛関係キリスト者の会)

ニュースレターNo. 172

2026 年 8 月



主に導かれて

元防衛大学校教授 岡部建蔵

在原 繁宣教師から、防衛大学校退官後に福島県郡山市で開拓伝道をされた岡部建蔵師の「証」の記事※を頂戴しました。今回はその記事を掲載いたします。

現在 71 才である私が洗礼を受けたのは 17 才の時です。長い信仰生活ですが、その間には何回となく信仰の起伏がありました。

私が最初にイエス様とかかわりを持ったのはもっと以前で、私が 8 才の時でした。その頃大阪市の繁華街の近くで祖母と共に住んでおりましたが、近くに救世軍の伝道所ができました。毎晩のように制服を着た 5、6 名の男女の士官達がブラスバンドを先頭にして、夕暮れの街を、讃美歌を歌いながら行進します。その頃はまだ自動車やバイクが珍しい時代ですから、伝道隊は広い街路の中央を堂々と行進することができました。この伝道隊の先頭に立って、赤地に白い十字架のマークの入った提燈を持って歩いていたのが私です。テレビもラジオもない時代ですから、人々は夕食後のひととき家族連れで商店街のにぎやかな町通りを格別の目的もなく散歩するのです。そこへ伝道隊が勇ましく歌いながら行進するのですから、すぐに大勢の人々が隊後に続いて、長い長い行列になります。まもなく伝道隊は十字路の角で止まって、後ろについて来た人々を前にして讃美歌を歌ったり、福音の物語を始めます。その間私は正面中央に提燈を高く上げて立ち続けているのです。やがて伝道隊はもと来た道に戻り始めますが、何人かの人々は伝道所までついて来て、そこでもまた、福音を聞いておりました。しかし私の役目は伝道所についたところで終りで、後の話は聞かずに走って家へ帰ってしまいました。

どういうわけでこのような仕事をするようになったのか記憶にありませんが、中学生になると当然のことに教会に通うようになり、日本橋の自由メソジスト教会で洗礼を受けました。そしてアメリカの神学校に留学するために、宣教師について語学の勉強を始めておりました。ところが、その頃アメリカ留学から帰国したばかりの日本人の若い伝道者の物腰の優しい、女性的な態度に何故か強烈な反発を感じて牧師志願の初志を放棄してしまい、日本の大学へ入るために東京へ来てしまったのです。

このような些細なことが、どうして、つまずきになったかと不思議でなりません。当時の自由メソジスト教会の礼拝はカリスマ的で聖霊に満たされていました。牧師は壇上で体を半身にかまえ、こぶしを振上げて預言者の様に御言葉を説き、その一言一言に、信者達は涙と共に、アーメン、アーメンと聖書の架台をたたきながら答えていました。こういう雰囲気の中で育った魂が青白きインテリに反発したのでしょうか。この事が私の人生を大きく変えてしまいました。

大学では、生命をより深く理解するために化学のコースを選び、卒業後もずっと大学または研究所で化学の勉強を続けてきましたが、信仰的には唯一人で聖書を学ぶだけの信者でありました。ところが防衛大学校教授でありました時に宮崎健男学生（現在、フィラデルフィア教会牧師）が三月の卒業式直前に退学届を提出して福音伝道のために献身したことを知り、彼の信仰をそれ程までに引っ張ったH師に近づくようになりました。防衛大学校学生が卒業式直後に自衛隊を退職することは珍しい事ではありませんが、卒業式場で自

衛隊勤務の宣誓を行った後に辞めることを潔しとしなかった彼の態度に敬服しました。やがて宮崎牧師とチカ子夫人が神奈川県船越伝道所を与えられた時に、信者数名と共にH師に導かれて祈りの会を持ちました。今でもその時の聖霊に満ち溢れた雰囲気の手取るように思い出されます。H師はメッセージのために立ち上がり、口癖のように“ハレルヤ・プレイズ・ゴッド”と繰り返しながら聖書をひもとくと、もう大粒の涙が彼の頬を伝わっておりました。ところがやがて宮崎牧師一家が海の向こうの千葉県大佐和町に移られたので、またまた私の弱い信仰心は挫折してしまいました。しかし、その間にも徐々に魂の準備がなされていたのでしょうか、ドイツ敬虔主義の流れをくむ人々と交わりを持つようになりました。この教会は北欧のリバイバルの時に結成されたものですが、その新年集会在逗子で持たれた時に私に再献身がおこりました。メッセージはラザロの復活の物語でしたが、主イエスが、「ラザロよ出てきなさい」と叫ばれた時、私は百雷が一時に落ちる様なショックを受けました。ああっ、自分は長い間、墓の中で死んでいたのだと気づいたからです。そして若い時代の伝道の情熱が走馬灯のように魂の底から沸き出しました。それはもう止めようとしても止められるようなものではありません。そして、伝道に立とうと再び決意したのです。

翌年には東京の目黒区の、ある神学校に4年制の夜間部が創設されることとなり、私は防衛大学校に勤務したままで第1回生として入学しましたが、その時は62才でした。主はまことにその僕に必要な物を備えて下さいます。アーメン。4年生になった春に、防衛大学校を定年退職して、福島県郡山市の東北歯科大学に移りましたが、これは東北地方の農村伝道に打ち込もうと願ったからです。そのため郡山と東京をピストン往復する事となり、最後の一年の単位を2年間とる事になってしまいました。夜9時30分に神学校が終わると上野より10時30分の急行に乗り、翌朝2時に郡山に着きます。大雨の後で列車が2時間程遅れた事がありました。郡山へ到着した時にはすでに東の空が色づいていました。神学校卒業後の年の3月に箱根の地塩苑で持たれた独立ペンテコステ大会に出席し、皆様の祈りと励ましを受け、さらに横浜フィラデルフィア

教会の鈴木牧師の突然の発案により、思いがけなく宣教師、牧師の諸先生方大勢に囲まれて按手礼を頂き、勇躍して東北の地で伝道を開始することになりました。

東北歯科大学では学生達を集めて聖書研究会を始めておりますが、1、2年生のためにはジュニアコースとして、新約と旧約を一年交代に講じ、3年以上の専門課程の学生にはシニアコースとしてキリスト教史を講じました。10名程度の小さい集いですが、彼らが卒業後に各地で開業して多くの患者さんたちに接したときに、語らずとも業によってキリストの福音を伝えてくれる事を期待しております。その間に、たまたま会津磐梯山の裏側にある安達太良山の麓で2千坪程の山林を入手しましたので、そこを伝道の根拠地とするために学生たちと開拓を始め、小さい山小屋を建ててその赤い三角屋根の上にキリスト者の証しのために白い十字架を立てました。ところがこれを見た村の人達が村に教会ができたと伝えるようになり、いつの間にか大玉村教会という名称になって、子供達が集まるようになりました。古い古い聖書を持って訪れる老人も現れて驚きましたが、今年になってその謎がやっと解けました。それはこの地の更に奥の開拓農地は終戦の頃にキリスト者達が集団疎開して開墾したものだということです。その集団はすでに栃木県的那須地方へ移住したと聞いておりますが、まことに蒔かれた一粒の種はいつまでも絶える事なく、その根を大地にひそませて、時あらば若芽を出そうとしていることを知って感謝に堪えません。

そのうちに、歯科大の聖書研究会の方は、だんだん年が進むにつれて、成績の芳しくない学生や留年組または校規違反で処分された学生たちが集まる様になってきました。何故かと暫くの間は首をかしげていたのですが、近頃ではこれでいいのだと思うようになりました。主イエスが弱い者や罪人達と席を共にして食事をしたり、物語られたことを思い出したからです。そして、今では聖書研究会のメンバーは聖書の学びよりも、むしろ優秀な先輩たちが故障の多い後輩達の面倒を見ることを仕事としております。

学生の事を案じて訪ねて来られるお母様にキリストの愛をこの事によって証し出来る事を私共は誇りに思っています。私共が何かをなそうと励む時、いつも

主の御手によってリモートコントロールされ、いつの間にか軌道修正されている事に気づき、これが神の導きであると感謝でなりません。これからもイエスキリ

ストにならって歩んでいきたいと願っている次第です。

※ちから(1980年12月クリスマス号)

2026年度総会報告

6月13日(土)、2026年度コルネリオ会総会を対面とZoomのハイブリットで実施し、2025年度の活動報告・会計報告と2026年度の活動計画・予算計画及び役員人事の審議を行いました。

2026年度の活動計画、役員人事、会計決算及び予算は次のようになっています。異議のある方は会長(中野久永)宛て1ヶ月以内に申し立ててください。

1 2026年度コルネリオ会活動計画

1 2026年度コルネリオ会の主題聖句：

「いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。
すべてのことにおいて感謝しなさい。」

I テサロニケ 5:16-18

2 具体的活動

(1) 例会

ア 例会は、原則として毎月第2土曜日に開催する。2026年度も日本全国および海外からも参加可能なZoomを利用して、学びと交わりを充実する。

イ 学び会は2026年度もInductive Bible Study方式によるマルコの福音書の学びを中心に、牧師先生方、AMCF会長等によるメッセージや各人の証しにより、会員の霊的成長と神の国の実現につながるような会とする。これによってお互いの信仰を高め合い、現役会員の使命が達成されることを祈るとともに、参加者全員および家族の平安と健康が保たれるように祈る。さらに部隊内および隣人との良い関係を実現する。

ウ 祈り会(第4土曜日)を引き続き継続する。

現役祈り会は第4土曜日2100-2130、退役祈り会(ダニエル会)は第4土曜日2000-2030

エ 新来訪者を歓迎し、共に学び交わる環境を醸成していく。

(2) 広報

ア 会員の証しや学び会での恵み、活動に賛同してくださる先生方の投稿記事等、ニュースレターの記事をさらに会員の霊的成長につなげる内容に改善し、会員の活動への参画意欲

を醸成していく。

イ また、愛する兄弟姉妹の信仰の支え、励ましとなる証し等の掲載に心がける。

(3) 宣教

ア ホームページにコルネリオ会の例会・総会の議事録を掲載するとともに、牧師先生のメッセージをYouTubeに載せる。また各国AMCF等のホームページの日本語での紹介等を実施して会員等が活用しやすいホームページ作りに着意する。

イ 宣教団体との協力を継続し、会員の霊的成長につながる情報を提供していく。

ウ 宣教・広報に役立つようなコルネリオ会をアピールするグッズ等を今後検討していく。

(4) 国外活動への参加と支援

ア AMCF(世界軍人キリスト者の会)及びACCTS(AMCFの教育支援機関)およびMSO(韓国の宣教支援団体)との連絡・調整を維持し、相互の意思疎通を図る。

イ アジア大会2026(韓国主催 9月16日-19日)に代表者を参加させる。

東アジア(韓国・台湾・モンゴル・中央アジア)軍人クリスチャンとの親善に努める。

ウ ACCTS(アメリカ、リック・ライレス元大佐)およびMSO(韓国)との交流を継続する。

(5) 会計

ア 活動の運営資金が備えられるよう、ニュースレター・ホームページ等を通じて祈り求める。

イ 予算の効率的な使用に心がける。

2 2026年度 役員人事

役 職	氏 名(細部役割等)
会 長	中野久永(全般、海外担当)
副会長	圓林栄喜(会長補佐)
総 務	加瀬典文(例会案内・書記・ 現役祈り会担当) 尾崎伸作(IT関係担当) 佐藤有希子(奏楽担当)
企 画	関 博之(企画) 荻原洋聡(企画補佐)
渉 外	薮内隆志(日本語ホームページ) 中野久永(英語ホームページ)

広 報	圓林栄喜(NL編集、郵便・メール発送) 佐藤有希子(同上：印刷) 関 博之(国内広報担当) 甲斐悠樹(同上) 八木信如(同上) 常盤一崇(同上)
会 計	長濱貴志(会計業務全般) 関 博之(同上補佐)
監 査	福嶋信人(会計監査)
顧 問	石川信隆(例会・広報担当) 今市宗雄(ダニエル会担当)
主任教職顧問	佐藤 順牧師(単立牛込キリスト教会)
教職顧問	大頭眞一牧師(京都信愛教会/天授が岡教会/明野教会) 金 学根牧師(Japan Bible Academy) 井草晋一牧師(日本メノナイトブレザレン教団、関西支部担当) 徳梅陽介牧師(日本同盟基督教団馬堀聖書教会) 高原剛一郎牧会者(東住吉キリスト集会)

3 2025 年度 決算 (2025. 4. 1～2026. 3. 31)

1 収入	前年度繰越金	¥2, 292, 838
	献金 一般	¥319, 720
	献金 2025 Interaction	特別会計
	利息	¥2, 370
	合計	¥2, 614, 928
2 支出	講師・謝礼費	¥20, 000
	ニュースレター作成・発送費	¥84, 121
	新聞雑誌広告費	¥29, 150
	集会/例会会議費	¥30, 000
	慶弔費	¥0
	接待交際費	¥23, 728
	旅費・交通費	¥0
	事務通信費(はがき・切手・インターネット等)	¥152, 513
	雑費(振込手数料・郵送通知料金)	¥4, 862
	献金(国内・国外教会・海外へ)	¥0
	特別会計 2025Interaction へ	¥200, 000
	小計	¥544, 374
	予備費	¥2, 070, 554
	合計	¥2, 614, 928
3 一般会計	次年度への繰越金	¥2, 070, 554

2025 年度 特別会計決算 (2025. 4. 1～2026. 3. 31)

4 収入	全日参加費(21名×3万)	¥630, 000
	部分参加費(5名×5, 000)	¥25, 000
	Interactionのための献金	¥463, 538
	席上献金 現金	¥75, 000
	同上 韓国 10, 000 ウォン	¥902
	一般会計からの補填	
	2024 年 15 万, 2025 年 20 万	¥350, 000
	合計	¥1, 544, 440

5 支出	宿泊費	¥313, 500
	食事代(戸山サライズ 食事、牛込教会弁当、軽食、ツアー外食)	¥200, 567
	戸山サライズ 会食会場	¥61, 800
	ツアー交通費(都庁、皇居)	¥10, 620
	講師等謝礼(佐藤師夫妻、梅木まみ様)	¥70, 000
	会堂使用費	¥10, 000
	施設清掃費	¥26, 000
	資料印刷	¥12, 315
	飲料等提供	¥12, 061
	事務通信費ストライプ(ホームページ申込、信販会社手数料)	¥13, 748
	タオル 40 枚作製	¥42, 680
	送金手数料、郵送料	¥7, 915
	合計	¥781, 206

6 特別会計	次年度の一般会計への繰越金(4. 収入-5. 支出)	¥763, 234
--------	----------------------------	-----------

7 一般会計及び特別会計からの繰越金	3. (2, 070, 554) + 6. (763, 234)	¥2, 833, 788
--------------------	----------------------------------	--------------

4 2026 年度 予算 (2026. 4. 1～2027. 3. 31)

1 収入	前年度繰り越し	¥2, 833, 788
	献金一般(クリスマス献金)	¥350, 000
	利息	¥2, 000
	合計	¥3, 185, 788
2 支出	講師・謝礼費	¥60, 000
	ニュースレター作成・発送費	¥90, 000
	新聞雑誌広告費	¥30, 000
	集会/例会会議費	¥60, 000
	慶弔費	¥20, 000
	接待交際費	¥30, 000
	旅費・交通費	¥20, 000
	事務通信費(はがき・切手・ホームページ維持等)	¥150, 000
	雑費(振込手数料・郵送通知料金)	¥10, 000
	献金(国内・国外教会・海外へ)	¥30, 000
	韓国世界大会参加支援	検討中※
	小計	¥500, 000
	次年度への繰越(予備費)	¥2, 685, 788
	合計	¥3, 185, 788

※ 参加支援額は開催までに役員等で調整し決定

献金感謝 (2026. 3. 1-2026. 6. 30)

皆様の献金を心から感謝します。(敬称略、順不同)
小島健二、藤原幸生、中野久永、石川信隆、今市宗雄、
瀬在道晴・米子、栗田祥子、石井克直、常盤一崇、
吉田 靖、飯塚正実、康田洋子、清水幸子

振込先 ① 郵便振替口座：00130-3-87577 (コルネリオ会)
② 銀行振込口座：三菱UFJ 銀行 和光支店
店番 505 口座番号 0385701
ジェーエムシーエフ ナガハマタカユキ
③ ゆうちょ銀行 ○一九(ゼロイチキュー)店
当座 0087577 コルネリオ会

編集子

海野涼子姉が 2026 年 6 月 9 日召天されました。主にある交わりを感謝するとともにご遺族の上に慰めと平安が与えられるようお祈りください。